

Vol.9
2014 May

みんなの未来を守る健康診断
Ibaraki Health Service Association

けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会 機関紙



Vol.9 CONTENTS

特集

5月31日は世界禁煙デー

厚生労働省 健康局 がん対策・健康増進課 たばこ対策専門官 野田博之

Topics

- ・第48回予防医学技術研究会議にて事例発表をしました
- ・第65回結核予防全国大会に参加しました
- ・ISO9001認証を更新しました

Information

- ・働く方の健康診断のご案内
- ・ホームページをリニューアルしました!
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014茨城
が開催されます!



けんこうリンク
公益財団法人 茨城県総合健診協会

5月31日は世界禁煙デー

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課たばこ対策専門官

野田博之

まもなく「世界禁煙デー」です。今号では、喫煙習慣による様々な影響のほか、今年の世界禁煙デーの取り組みについて特集しました。



5月31日は世界禁煙デー

5月31日は世界保健機関 (World Health Organization: WHO) が定める世界禁煙デー (World No Tobacco Day) です。WHOは、たばこによる健康影響が世界的に深刻なことを受けて、1989年より5月31日を世界禁煙デーとして、たばこの煙のない環境を目指した普及啓発活動を行っています。WHOが定めた今年の世界禁煙デーのテーマは「Raise the Tobacco Tax: たばこ税を上げよう」です。日本では、5月31日から6月6日までを禁煙週間として普及啓発活動を行っています。

世界で年間600万人が死亡

国際がん研究機関 (International Agency for Research on Cancer: IARC) が公表している発がん性の分類では、能動喫煙と受動喫煙は、アスベストやホルムアルデヒドと同様に、「ヒトへの発がん性を示す十分な証拠がある」とするグループ1に区分されています。たばこ煙には4,000種類以上の化学物質が存在し、その中の60種類以上の物質については発がん性が指摘されています。たばこ煙は、DNAの損傷、炎症、酸化ストレス等のメカニズムを介して、がんや循環器疾患、呼吸器疾患等の健康リスクを高めることが指摘されています。受動喫煙のようにたばこ煙への曝露が低いレベルであっても、血管内皮の機能障害や炎症が生じ、このことが急性の循環器疾患の発症や血栓形成へとつながるとされています。

たばこの発がん性について (WHOによる分類)

国際がん研究機関 (IARC)*は、たばこ、アスベスト、ホルムアルデヒドなど107種について、人に対する発がん性を示す十分な根拠がある (グループ1) としている。

*: International Agency for Research on Cancer (IARC)
世界保健機関 (WHO) のがん研究の専門機関であり、ヒトへの化学物質の発がん性評価等を実施している。

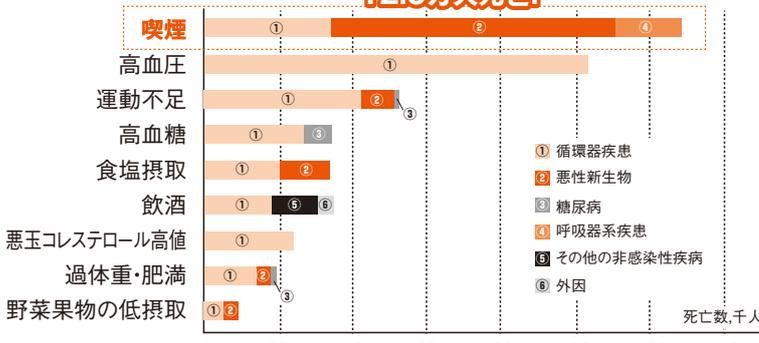
分類	例
グループ1 発がん性がある (Carcinogenic to humans) ヒトへの発がん性を示す十分な証拠がある場合等 (107種)	たばこ (能動・受動)、アスベスト、ホルムアルデヒド、カドミウム、ダイオキシン、太陽光、紫外線、エックス線、ガンマ線、アルコール飲料、ヘリコバクター・ピロリ等
グループ2A おそらく発がん性がある (Probably carcinogenic to humans) ヒトへの発がん性を示す証拠は限定的であるが、実験動物への発がん性を示す十分な証拠がある場合等 (63種)	PCB、鉛化合物 (無機)、ディーゼルエンジン排気ガス 等
グループ2B 発がん性があるかもしれない (Possibly carcinogenic to humans) ヒトへの発がん性を示す証拠が限定的であり、実験動物への発がん性に対して十分な証拠がない場合等 (271種)	クロロホルム、鉛、コーヒー、漬物、ガソリン、ガソリンエンジン排気ガス、超低周波磁界、高周波電磁界 等
グループ3 発がん性を分類できない (Not classifiable as to carcinogenicity to humans) ヒトへの発がん性を示す証拠が不十分であり、実験動物への発がん性に対して十分な証拠がないか限定的である場合等 (509種)	カフェイン、原油、水銀、お茶、蛍光灯、静磁界、静電界、超低周波電界 等
グループ4 おそらく発がん性はない (Probably not carcinogenic to humans) (1種) ヒトと実験動物への発がん性がないことを示唆する証拠がある場合等	カプロラクタム (ナイロンの原料)

出典: <http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

日本では喫煙が原因で毎年12.9万人が死亡!!

2007年の我が国における危険因子に関連する非感染症疾病と外因による死亡数

12.9万人死亡



このような健康への影響によって、世界では年間600万人が能動喫煙や受動喫煙で死亡していると推定されています。日本国内の推計では、年間12〜13万人の日本人が喫煙で死亡していると推定されており、がんや循環器疾患で死亡する最大の原因となっています。

喫煙による経済損失推計

喫煙によるコスト(健康面)			(単位:億円)
超過医療費 ※3コホート合併データ使用	直接喫煙	医療費	17,680.85
		歯科医療費	1,750.57
	受動喫煙	医療費	1,431.43
超過介護費			(参考値)※4,760.30
小計①			1999年度推計 13,088億円 17,680.85
喫煙によるコスト(施設・環境面)			(単位:億円)
喫煙がもたらす火災の消防費用			1,879.03
喫煙関連の清掃費用			39.32
小計②			1999年度推計 2,105億円 1,918.35
喫煙によるコスト(労働力損失)			(単位:億円)
喫煙関連 疾患による 労働力損失	直接喫煙	入院/死亡に関わる労働力損失	23,596.15
		受動喫煙	22,153.81
	受動喫煙	入院/死亡に関わる労働力損失	1,442.34
喫煙がもたらす火災による労働力損失			68.34
その他の労働力損失(喫煙時間分の労働力損失)			(参考値)※15,604.15
小計③			1999年度推計 58,454億円 23,664.49
総額(小計①+②+③) 4兆3,264億円の経済損失			

※超過介護費、喫煙時間分の労働力損失は参考値のため計上せず、含めると喫煙による経済損失の総額は4兆3,628億円。
出典:医療経済研究機構・平成20年度医療経済研究機構自主研究事業「禁煙政策のありかたに関する研究」報告書,2010年

喫煙による経済損失

たばこは国民経済に対して大きな損失をもたらしています。例えば、医療経済研究機構によると、喫煙によって年間4.3兆円の経済損失があると推定されています。このうち、超過医療費が年間1.7兆円、入院死亡による労働力損失が年間2.4兆円、その他、喫煙による施設・環境面での損失(火災の消

防費用・清掃費用など)が年間0.2兆円で、合計で年間4.3兆円の喫煙による損失が、少なくとも存在することが示されています。たばこ税による税収は年間約2兆円です。税収に比しても、喫煙による経済損失は大きく、健康増進を進める観点からだけでなく、経済損失を防ぐ観点からも、たばこ対策を行っていく必要があります。

たばこ対策を進める国際条約

2005年2月、「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」(Framework Convention on Tobacco Control: FCTC)という国際条約が発効しました。FCTCは公衆衛生の分野では初めてとなる国際条約であり、「たばこの消費及びたばこの煙にさらされるのが健康・社会・環境及び経済に及ぼす破壊的な影響から現在及び将来の世代を保護すること」を目的として、禁煙支援、受動喫煙防止対策やたばこの価格と課税などの事項と共に、たばこ包装・広告、未成年者に対する販売・転作等代

替的経済活動の促進に関する事項を含めた、包括的なたばこ対策を進めることを加盟国に求めています。日本は条約の発効当初からFCTCを批准しており、過去10年間の日本のたばこ対策は国際的な動きと共に歩んできました。

喫煙による健康影響は明白です

喫煙による健康影響は明白であり、健康増進を進める観点や経済損失を防ぐ観点からたばこ対策を行っていく必要があります。世界禁煙デーを機会に、たばこ煙のない社会を考えてみてください。

2014年世界禁煙デー記念イベント

- テーマ 「オールジャパンで、たばこの煙のない社会を」
※WHOの標語
「Raise taxes on Tobacco」
- 日時 平成26年5月31日(土) 開場14時30分
- 会場 東京ミッドタウン(プラザ1F キャンピススクエア) 〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-1
- 主催 厚生労働省
- 共催 (公社)日本医師会、(公社)日本歯科医師会、(公社)日本薬剤師会、(公社)日本看護協会、たばこと健康問題NGO協議会<がん研究振興財団、結核予防会、健康・体力づくり事業財団、日本対がん協会、日本公衆衛生協会、日本心臓財団>、「喫煙と健康」WHO指定研究協力センター(独)国立がん研究センター)
- 後援 内閣府、警察庁、人事院、文部科学省、東京都、日本栄養士会、日本循環器管理研究協議会、日本学校保健会、中央労働災害防止協会、日本禁煙推進医師歯科医師連盟、全国禁煙推進協議会、国民健康保険中央会、健康保険組合連合会、健康日本21推進全国連絡協議会、日本禁煙学会、全国健康保険協会(協会けんぽ)
- 目的 世界保健機関(WHO)が世界中の国々に呼びかけている世界禁煙デーは今年で26回目となっています。今年のシンポジウムでは喫煙及び受動喫煙による健康被害等についての普及啓発に加え、世界禁煙デーの基本テーマである「たばこフリー(たばこの無い環境)」について、広く国民に訴求することを目的としています。
- 対象 国民一般、行政・保健医療・教育関係者、その他

●プログラム	14:30	15:00	15:10	15:20	15:30	16:00
	開場(展示ブースオープン)	開会挨拶 厚生労働大臣	禁煙大使任命式 厚生労働大臣から禁煙大使「安藤美姫」氏に任命書を授与	トークショー 「禁煙大使の意気込みと今後の活動について」	企業・団体によるブース出展 禁煙関連の展示・資料配付・たばこ相談員による禁煙相談 肺年齢チェック 等	閉会

厚生労働省 健康局
がん対策・健康増進課

野田 博之

【略歴】

平成15年3月 筑波大学医学専門学群 卒業
平成19年4月 大阪大学大学院医学系研究科 助教
平成21年7月 米国ハーバード大学公衆衛生大学院 社会人間開発健康学科 研究員
平成24年2月 厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室 たばこ対策専門官
平成24年4月 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 たばこ対策専門官
(現在に至る)

【専門】

公衆衛生学 疫学 生活習慣病対策 たばこ対策

第48回予防医学技術研究会議にて事例発表をいたしました

平成26年2月27日(木)・28日(金)に、松山全日空ホテル(愛媛県松山市)において「第48回予防医学技術研究会議(主催…(公財)予防医学事業中央会、(公財)愛媛県総合保健協会)」が開催されました。

この会議は、予防医学事業中央会の各県支部職員が参加し、健診・検査等に係る業務改善の成果や症例報告など様々な事例を発表することで、支部間の情報共有並びに各種技術の研さんに努めています。そこで今号では、当協会が発表した事例の一部をご紹介します。

なお、紙面の関係上、原文の一部を割愛させていただいております。

発表 1

特定健康診査における詳細項目非該当者に対するの検査(心電図、眼底検査)結果の検討

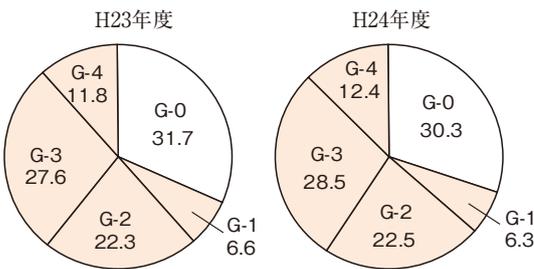
特定健康診査において詳細な健診項目とされた心電図検査、眼底検査は、前年度の結果が「肥満」「血糖」「血圧」「脂質」の4項目すべてにおいて国が定める判定基準(表1参照)に該当した者のうち、医師が必要と認める者について実施することとされている。この判定基準の中の「肥満」に該当する受診者に着目し、心電図検査、眼底検査の要精検率について検討した。

表1 詳細項目該当の判定基準*

肥満	a) 腹囲 男性85cm以上・女性90cm以上
	b) BMI 25以上
血糖	a) 空腹時血糖 100mg/dl以上
	b) HbA1c 5.2%以上(JDS法)
血圧	a) 収縮期 130mmHg以上
	b) 拡張期 85mmHg以上
脂質	a) 中性脂肪 150mg/dl以上
	b) HDLコレステロール 40mg/dl未満

*厚生労働省「標準的な健診・保健指導に関するプログラム(確定版)」より
*aまたはbに一致すること

図1 グループ別の割合(%)



【対象】 当協会が特定健康診査を受託している県内37市町村のうち、心電図検査、眼底検査を国民健康保険加入者(40歳以上)全員に対して追加で実施している29市町村において、心電図検査、眼底検査の両方を受診した22,233(74人)を対象とした(内訳…平成23年度110,963人、平成24年度111,374人)。

【検討方法】 「肥満」該当者を中心に、判定基準の該当数で5グループ(G-0～G-4)に分け、心電図検査、眼底検査の要精検率について検討した。

表2 「肥満」に着目したグループ別の集計 単位:人(%)

* G-1～G-4が「肥満」該当者

グループ	判定基準項目	該当者数		心電図要精検者数				眼底要精検者数			
		H23年度	H24年度	H23年度		H24年度		H23年度		H24年度	
G-0	該当項目なし	18,212(31.7)	17,292(30.3)	731(4.0)	702(4.1)	1,960(10.8)	1,734(10.0)				
G-1	肥満のみ	3,786(6.6)	3,573(6.3)	201(5.3)	203(5.7)	466(12.3)	425(11.9)				
G-2	肥満+血糖	6,886	7,308	545	614	1,119	1,120				
	肥満+血圧	12,837(22.3)	12,833(22.5)	995(7.8)	1,080(8.4)	2,025(15.8)	1,892(14.7)				
	肥満+脂質	1,976	1,868	113	121	246	211				
G-3	肥満+血糖+血圧	8,869	8,964	1,018	947	1,705	1,558				
	肥満+血糖+脂質	15,878(27.6)	16,319(28.5)	1,678(10.6)	1,620(9.9)	2,803(17.7)	2,591(15.9)				
	肥満+脂質+血圧	4,584	5,082	440	457	740	708				
G-4	肥満+血糖+血圧+脂質	2,425	2,273	220	216	358	325				
	合計	6,781(11.8)	7,049(12.4)	794(11.7)	840(11.9)	1,274(18.8)	1,249(17.7)				
		57,494(100.0)	57,066(100.0)	4,399(7.6)	4,445(7.8)	8,528(14.8)	7,891(13.8)				

【検討結果】

- ① 判定基準「肥満」該当(G-1～G-4)のグループ別の割合では、G-3(約28%)が一番多かった(図1参照)。
- ② 心電図検査の要精検率は、G-0からG-4へと判定基準の該当項目が増えるに従い上昇傾向を示した。また、眼底検査の要精検率も同様の傾向であった(表2参照)。
- ③ 心電図検査、眼底検査の要精検率はG-4(詳細項目該当者)が一番高いが、G-3もほぼ同様に高率であった(表2参照)。
- ④ 心電図検査、眼底検査のグループ別の要精検率は、年度に関わらず同様の傾向であった(表2参照)。

以上の結果から、現在の国が定める基準に基づいて特定健康診査を実施すると、G-4(詳細項目該当者)以外の「肥満」該当者(G-1～G-3 ※受診者10人のうちおよそ6人)は、心電図検査、眼底検査の要精検率が高いにも関わらず、検査の対象とならないことが判明した。今回の結果を踏まえ、心疾患等の早期発見のため、これら検査は全員実施を強く推奨することを訴えた。

オプション検査のご案内

当協会では、心電図検査、眼底検査の対象とならない方でも、ご希望により全額自己負担にてお受けいただけます(税込1,750円)。健診当日の受付時にお申込みください。



発表 2

特定保健指導の食事行動調査票を活用した考察

特定保健指導は、内臓脂肪の減少により生活習慣病のリスクを低減させることを目的としており、体重減少に効果的な支援のあり方が求められている。

当協会では、特定保健指導を平成20年度に開始し、これまで約1,300人の減量の支援に携わってきた。

そこで今回、当協会の保健指導において、どのような食習慣が体重減少に関連しているかを知るために、指導開始前(初回面接前)と指導終了後(開始から半年後)に

実施している調査票をもとに分析を行った。

その結果、「ゆっくり食べること」「腹八分目にする」「薄味にして加工食品を控える」「食後の活動量を増やす」「食後の水分を控える」「食後の水分を控える」など、効果的な体重減少をもたらすことが数値上からも示された。

今回のような分析例は他にもあり見当たらないため、会場及び座長からも多くの関心が寄せられた。

発表 3

茨城県における先天性代謝異常等検査(タンデムマス・スクリーニング)の実施状況

茨城県では、新生児の先天性代謝異常等検査について、平成25年度から新たな検査法(以下、「タンデムマス」)を導入した。

このタンデムマスの導入により、従来の検査法を含めると、検査対象疾患が大幅に増えた(6疾患↓19疾患)。

今回、一部の先天性疾患の検査において、平成24年度(従来の検査法)との比較・検討を行ったところ、平成25年度の再検査件数は半減しており、タンデムマス導入による検査精度の向上が期待される結果となった。



発表 4

喀痰細胞診が有用であった異時性多発中心型早期肺扁平上皮癌の1例

肺がん検診は、胸部X線検査を基本とし、喫煙指数が高いなどのハイリスク者には喀痰細胞診検査を併診することが推奨されている。肺中心部(気管支)にできる小さながんは喫煙と関係が深く、また、位置的に心臓や太い血管などと重なるため、胸部X線検査で見つけることは困難なことから、喀痰細胞診検査が有用とされている。

今回、喀痰細胞診検査にて2年連続で要精密検査となり、それぞれ別の場所に早期がんが発見された症例を経験した。

どちらも胸部X線検査では異常を指摘されなかったことから、早期の中心型肺がんの発見に喀痰細胞診検査が有効であることを再認識する貴重な症例であった。

第65回結核予防全国大会に参加しました

参加しました

平成26年3月13日(木)・14日(金)の2日間、「第65回結核予防全国大会(主催：結核予防会、島根県)」が松江市の「ホテル二畑」等にて盛大に開催されました。

この大会は、今なお深刻な感染症である結核について、全国の結核予防関係者が一堂に会し、現状や今後の対策の方向性について共通理解を深め、諸問題を討議し、結核予防のさらなる推進を図ることを目的として、毎年開催するものです。

結核予防会総裁であられる秋篠宮妃殿下にご臨席いただき、激励の言葉を賜るとともに、結核予防事業に対する功績

が顕著な方々に対し、秩父宮妃記念結核予防功労者賞を授与いただきました。

結核予防会茨城県支部である当協会は、結核等の胸部疾患撲滅のため、胸部検診の推進や複十字シール募金運動等の普及啓発活動に引き続き取り組んでまいります。



多くの方の参加により盛大に行われました

ISO9001認証を更新しました

ISO9001とは、顧客や社会などが求めている品質を備えた製品やサービスを、常に届けるための仕組みについて「国際標準化機構(ISO)」が定めた世界共通の規格です。

国内では、公益財団法人日本適合性協会が認証しており、認証取得には「必要な手順の文書化」や「品質方針の策定」、そして「具体的な目標を設定し達成度評価を行う」ほか、「定期的監査の実施」など、ISO9001が定める厳しい審査項目をクリアしなければなりません。

当協会は、茨城県内の健診団体として唯一この認証を取得しており、2005年4月に取得して以来、3度目の認定更新となりました。

今回の更新審査では、健診会場におけるサービス向上への様々な取り組みや、職員のヒヤリハット活動による積極的な業務改善の実施、作業マニュアル改定後の適切な業務管理等が評価されました。

今後も皆様に安心して健康診断を受けていただけるよう、「健診の質の保証」と「受診者満足度の向上」の二つを追求し、ISO規格の目的である継続的改善を図ってまいります。



働く方の健康診断のご案内



当協会では、働く方の健康を守るため巡回健診を実施しております。少人数や健診会場の確保が困難な事業所の皆様には、県内各地の指定会場でお受けいただくことが可能な定期健康診断（労働安全衛生規則第44条に基づく）を実施しております。

予約制にて実施しておりますので、最寄りの会場をご確認の上、是非ともご利用ください。

定期健康診断検査項目

- ・診察
- ・身体計測
- ・腹囲測定
- ・尿検査
- ・血圧測定
- ・視力検査
- ・聴力検査
- ・胸部X線検査
- ・貧血検査
- ・血中脂質検査
- ・肝機能検査
- ・血糖検査
- ・心電図検査

お申込み方法は？

当協会ホームページから申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ申込書記載の番号へFAXにてお申込みください。後日、ご担当者様あてにご連絡いたします。なお、健康診断の項目等について、ご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。

【お申し込み手順】

<http://www.ibasouken.org/>

トップページ内の出張サービス「職場の健康診断」

指定会場での健康診断「会場及び日程」

最寄りの会場名

FAX用紙のダウンロード



お問合せ・お電話によるお申込みは、
今すぐお電話を
☎029-241-0542 (渉外課直通)

平成26年度健康診断日程表

会場名	受付時間	H26.6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27.1月	2月	3月
ワークプラザ勝田 ひたちなか市東石川11279	9:30~11:00 13:30~15:00		30日(水)								
おおみやコミュニティセンター 常陸大宮市北町400-2	14:00~15:30 (PMのみ)		31日(木)								
大子町保健センター 大子町大子1846	14:00~15:30 (PMのみ)			1日(金)							
鹿嶋勤労文化会館 鹿嶋市宮中325-1	9:30~11:00 (AMのみ)									10日(火)	
	9:30~11:00 13:30~15:00			8日(金)		29日(水)					
たつのごアリーナ 龍ヶ崎市中里3-2-1	9:30~11:00 13:30~15:00					23日(木)		2日(火)			
筑波研修センター つくば市天久保1-13-5	9:30~11:00 13:30~15:00	9日(月)	23日(水)	19日(火)	10日(水) 26日(金)		4日(火)	1日(月) 10日(水)	7日(水)		
とねミドリ館 古河市前林1953-1	9:30~11:00 (AMのみ)					20日(月)	10日(月)		28日(水)		
総合健診協会県西センター 筑西市関本分中37-1	9:00~11:00 (AMのみ)									19日(木)	
	13:30~15:00 (PMのみ)		28日(月)	26日(火)							
	14:00~15:30 (PMのみ)					20日(月)	10日(月)		28日(水)		
総合健診協会県南センター 土浦市手野町1-1	9:00~11:00 13:30~15:00				8日(月)	8日(水)					
	9:00~11:00 13:30~15:00	30日(月)	14日(月) 29日(火)	6日(水) 25日(月)	5日(金)	10日(金) 21日(火)	21日(金)	15日(月)	16日(金)	18日(水)	3日(火)
総合健診協会診療所 水戸市笠原町489-5	8:00~10:50										

毎週火・金曜日 ※ご希望の方は、予約係(TEL029-241-0053)までお電話ください。

ホームページをリニューアル

しました！



この度、当協会のホームページをより便利にご利用いただくため、全面リニューアルいたしましたのでお知らせします。

ホームページのリニューアルに伴い、従来ではお伝えしきれなかった当協会の取り組みや健診内容などがわかりやすくご覧いただけるようになりました。また、より使いやすく分かりやすいホームページとなるよう、「デザインを一新するとともに、ページ構成も全面的に見直し、情報が多いサイトでよくありがちな「ホームページ内で迷う」心配もございません。それから、現在の情報化時代に対応するため、パソコン、タブレット、スマートフォンなど、ご使用の環境に応じてホームページをより快適にご利用いただけるよう配慮いたしました。

NewHP URL : <http://www.ibasouken.org/>

リニューアルの主なポイント

ポイント1 デザイン刷新

- ① トップページのヘッダ画像をスライドショーにして、インパクトをつけました。
- ② 画面の横幅を広くし、より多くの情報を見やすく配置しました。
- ③ サイト全体のデザインを落ち着いた色調にまとめました。
- ④ 文字サイズやボタンサイズを大きくし、見やすかつ情報を探しやすいしました。

ポイント2 各メニューとコンテンツの充実

- ① メニュー構造を整理し、健診ごとの内容や受け方などがわかりやすくなりました。
- ② お住まいの市町村を選択していただき、市町村が行う集団健診の日時、会場、健診項目などを検索できる「健診NAVI」という検索サービス機能を設けました。
- ③ 「よくある質問」のページを設置いたしました。健診等に関して多く寄せられる質問の一部を、ホームページ上でご確認ください。その他にも「健康診断・検査結果の見方」、「受診した方の声」などのページを新設しました。
- ④ 当協会のイメージ動画を製作いたしました。
- ⑤ お客様のご不明な点や疑問に思われたことを少しでも早く解決できるよう、当協会の各担当課宛の問い合わせフォームを設けました。

※これまでのアドレスと変更はありませんが、トップページ以外はアドレスが変更されています。

「のんびり歩いて 語ろう 学ぼう がんのこと」をスローガンに、今年度も「24時間ウォーキング」や「ルミナリエ」のほか、様々なアトラクションが予定されています。

当協会も昨年同様に役員によるチーム「けんこうリンク」を結成しウォーキングに参加するとともに、がん検診車の展示や骨量測定体験コーナー（無料）の実施を予定しています。

興味のある方はどなたでもア



～昨年のリレー・フォー・ライフ茨城より～

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014 茨城が開催されます！

リレー・フォー・ライフとは

リレー・フォー・ライフは、1985年にアメリカ人外科医が、がん患者を励まし、アメリカ対がん協会に寄付する目的で24時間フィールドを走り、「がんは24時間眠らない」「がん患者は24時間闘っている」というメッセージを伝え、募金を呼びかけたことに始まります。現在は世界21カ国で開催され、毎年世界中で400万人を超える人たちが参加しています。

日本では、2006年に茨城県つくば市（筑波大学陸上競技場）で初のリレー・フォー・ライフが開催されました（※当協会も運営協力団体として参加）。この大会は日本対がん協会がトライアルの形で開催したもので、翌年から地域市民ボランティアが中心となって開催する現在の形式に移行し、全国各地に広まっています（平成25年度は国内41カ所で開催されました。）。



※お車で来場される場合はつくば市役所職員駐車場③をご利用ください。公園南側駐車場は関係者専用です。

トラックシヨンにご参加いただけます。当日は、ぜひ会場へお越しください！



私の所属する野球チーム「スライカース」が、冬の自主トレ期間を終え、今シーズンの練習を再開いたしました。練習は早朝からのなので、日の出を迎え朝日を浴び、心地よい風を感じながら春の訪れを満喫している時、ふと足元を見ると、雑草の中から光り輝く（私には、そのように見えましたが……）四つ葉のクローバーを見つけました。摘んでしまうのはかわいそうなので、車の中に置いてあった携帯電話を取ってきて写真を撮りました。なにかいいことが起こりそうな予感。みなさんにもちよつとお裾分け……いいことがありますよーに!!（K.O）

編集後記



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

〒310-8501 水戸市笠原町489-5

TEL 029-241-0011(代) FAX 029-241-0332

【全国組織】

(公財)結核予防会茨城県支部

(公財)日本対がん協会茨城県支部

(公財)予防医学事業中央会茨城県支部

【施設認定】

労働衛生サービス機能評価機構認定施設

国際品質保証規格ISO9001:2008認証取得

プライバシーマーク認証取得



<input type="checkbox"/> 県西センター	〒308-0125 筑西市関本分中37-1	TEL 0296-20-3480	FAX 0296-20-3482
<input type="checkbox"/> 県南センター	〒300-0025 土浦市手野町1-1	TEL 029-830-3355	FAX 029-828-0985
<input type="checkbox"/> 茨城県立健康プラザ	〒310-0852 水戸市笠原町993-2	TEL 029-243-4171	FAX 029-243-9785

個人情報保護に関するお知らせ

当協会では、機関紙「けんこうリンク」の発行に関わるみなさまの個人情報を、同紙の送付以外には使用いたしません。次回以降、送付をご希望されない場合は、経営企画室までご連絡くださいますよう、お願いいたします。

「けんこうリンク」情報は

<http://www.ibasouken.org/>